

市民タイムス

安曇野

第2、3安曇野22、23面に

発行所/市民タイムス:本社/〒390-8539松本市大字島立800番地
TEL(0263) 受付47-7777 編集47-7774 広告48-2000 販売47-4755 ©市民タイムス2009年
FAX(0263) 受付48-2422 編集47-1654 広告47-8385 販売48-2422 支社:安曇野・塩尻・安曇・長野・木曽

安曇野支社/〒399-8304安曇野市穂高柏原2684
TEL(0263)82-0001 FAX(0263)82-0010

こだわりの米高い評価

三郷の24歳 入賞重ね「日本一を目指す」 宮沢さん



「日本一の米を目指したい」と語る宮沢さん

安曇野市三郷明盛の農業・宮沢和芳さん(24)は、有機肥料を使った独自の米作りに取り組んでいる。3年前に家業を継ぎ、同世代の農業者でつくる「安曇野・come(こも)」のメンバーとして、おいしい米作りを研究している。今秋に収穫したコシヒカリがコンテストや品評会に入賞し、活動が目まぐるしく若手農業者だ。

宮沢さんは松本工業高校出身で、家業を継ぐつもりで生業の仕事は気は全くなかった。東京でこだわりの米作りをする専門学校に進学した。2年連続で自然豊かな安曇野の育てた米は、2年連続

で信州産の優れた農産物を認定する県の「原産地呼称管理制度」に登録されて「ひかりほし」と名付けて直売所に出荷している。安心安全の米を消費者に提供することを目標に掲げ、自家製の有機肥料で育てた。農業は県の基準値を80%以上削減し、こめかともみ殻を発生

評会(1月6-8日)でも最優秀賞を受賞した。宮沢さんは、研究の成果が表れ、昨年に比べて米の味が改善されているといい、「日本一の米を目指したい」と意気込んでいる。

庁舎建設候補地再検討へ 市の選抜チームが初会合

農林外などの要件が、進め方を確認した。概略化された改正農地法。詳細項目案は、農林外や農林法などの施行に伴う距離や土壌利用計画、安曇野市の本庁舎の面との整合性、駐車場、建設候補地を決定し直す。候補地の十分な確保や、庁内プロジェクトチーム。地域内の総合支所を吸収の初会合が25日、農林外で進め方を確認した。本庁舎等合支所で開かれた。建設候補地候補地の選定候補地に選んでいる。農地法で使った項目に加え、農地の転用許可の難易度、目録を示して協議を行う。想定する用地買収費(年間借地料)などを新たに時並行で検討すること

もあつたのではないかと述べ、議院に併特別債を活用するため、限られた期間に候補地を決める重要性を強調した。

チームは今後、10人程度で候補地を絞り込む。3カ所が候補地となっていたが、改正農地法などの施行で建設が一掃されて「困難」になったとして、宮沢赤井市長が再検討の

冬休みへ気持ち新たに 市内11校で終業式



安曇野市内の小中学校11校で25日、2学期の終業式が行われた。子供たちは学習活動や行事を振り返り、新年を迎える気持ちを整え、約2週間の冬休みに入った。

市内11校で終業式。豊科北小学校(川口)で取り組んだ農作業や、児童会といった行事を川口校長は「2学期は、力をいれ、5年生は、池田町の小学校3校は26日、市内の残り6校は28日に終業式を行う。松川村の小中学校は25日に行

豊科北小学校(川口)で取り組んだ農作業や、児童会といった行事を川口校長は「2学期は、力をいれ、5年生は、池田町の小学校3校は26日、市内の残り6校は28日に終業式を行う。松川村の小中学校は25日に行

特別展 銀のボンニエールと 江戸ガラスの粋



写真を眺めながら現地の話に花を咲かせる茅野さん(中央)

安曇野産黒大豆「信濃黒」推奨商品 認定記念せえる
黒豆de抹茶ちょこ 600円
黒豆まんじゅう 100円
お茶元 胡蝶庵

メガネが安い 技術と信頼の眼鏡専門店
無料送迎いたします。電話下さい
トヨシナメガネショップ
南農高前 水曜定休